

セミナー『共感や仲間を集める夢。伝え方のヒントがここに。～機会を活かす Dream プレスリリースとは?～』

日時：2026 年 2 月 18 日(水) 14:00～15:00

形式：オンライン配信（Zoom ウェビナー）

参加費：無料

申込フォーム：<https://tayori.com/f/seminar-pre/>

4月1日は **April Dream**

共感や仲間を集める夢。
伝え方のヒントがここに。

機会を活かす
Dreamプレスリリースとは？

2/18 (水)

14:00-15:00

参加無料 オンライン開催



【登壇者情報】

株式会社 赤ちゃん本舗

コミュニケーションデザイン統括部 広報部／ブランドマネジメント部 部長 李 輝淳 氏

2025 年の Dream プレスリリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000526.000018863.html>

Dream プレスリリースには 2021 年から参加されています。



ダイヤ工業株式会社 広報部 藤原 舞利子 氏

2025 年の Dream プレスリリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000420.000060537.html>

Dream プレスリリースには 2023 年から参加されています。



Dream プレスリリース参加概要 | プレスリリースを無料で配信

Dream プレスリリースの参加概要は下記の通りです。

エントリー期間	2026 年 2 月 3 日(火)～2026 年 4 月 1 日(水)
指定配信日時	2026 年 4 月 1 日 00:00～23:59 ※3 月 31 日までの予約設定を推奨いたします
対象	企業・団体・自治体・個人事業主 ※PR TIMES の企業登録がお済みでない場合は、下記よりご登録をお願いします。 https://prtimes.jp/main/registcorp/form
配信料金	無料
参加方法	下記の URL より申し込みの上、フォーム送信後に送られる自動送信メールの案内に従って、配信準備を進めていただきます。 https://tayori.com/f/aprildream2026-release-entry/
特設サイト	https://aprildream.jp/

※参加における順守事項については、エントリーフォーム内、またはエントリーフォーム送信後に送られる自動送信メールに記載しております。

※順守事項に沿っていない場合、Dream プレスリリースとしてご配信いただけない場合がございますので、予めご了承ください。

Dream プレスリリース 企業・団体・自治体事例紹介

本プレスリリース冒頭のメイン画像には、様々な企業・団体・自治体の 2025 年の Dream プレスリリースのメイン画像を使用させていただきました。

[株式会社小学館](#) 様、[株式会社日比谷花壇](#) 様、[キーコーヒー株式会社](#) 様、[愛媛県伊予市](#) 様、[東京サンゴリアス](#) 様、[鈴茂器工株式会社](#) 様、[株式会社 RevComm](#) 様、[認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを](#) [日本委員会\(JCV\)](#) 様、[株式会社 赤ちゃん本舗](#) 様、[株式会社サンエスオプテック](#) 様、[株式会社 UPDATER](#) 様

April Dream2026 プロジェクトメンバーより

株式会社 PR TIMES PR TIMES 事業ユニット 第二営業部新規営業チーム 酒井希菜里

PR TIMES のお客様と関わる中で、広報の業務量の多さ、関係各所との調整、求められる数字の結果、人員の不足、など多くのハードルを感じてきました。そんな苦しい壁を乗り越え、それでも、いいものを伝えたいと奮闘する担当者の皆さんにとって、4月1日だけは、縛られず、普段秘めている未来に対する想いや夢を伝える機会になってほしいです。夢の先に、それを実現する行動が積み重なると、ただ発した夢のように見えていたものが、本質的には事業成長や採用活動などに直結すると思っています。また、企業・団体・自治体が4月1日に夢を伝えることが当たり前の世の中になれば、新しい年度の始まる日が、社会全体でとてもワクワクするものになっていくと信じて、Dream プレスリリースという発信の場を2026年もつくっていきます。



April Dream について

PR TIMES は、企業・自治体・各種団体・個人が、4月1日に“ウソ”ではなく“夢”を「April Dream (エイプリルドリーム)」として発信する新たな文化を提唱しています。発信することが、自分自身への決意になるかもしれない。発信することで、思わぬ協力者に会えるかもしれない。April Dream の機会に夢を言うことで、夢実現の一步になると信じ、夢を発信できる場をつくり、呼びかけています。

4月1日は
April Dream

April Dream の活動内容

2025 年の April Dream の活動内容とご参加いただいた皆さんの声をムービーでお届けします。

【April Dream 2025 | 4月1日、夢を発信して夢であふれる未来をつくろう】

https://youtu.be/so_Z9TnplrM?si=3GvVtIVBdLeQ-Wb

山手線が夢の桜で溢れる「Dream トレイン」

日本全国につくる Dream スポットの象徴的な存在として走る、Dream トレイン。2024 年、2025 年に続き、2026 年も春に Dream トレインを実施し、日本全国の個人・企業・団体から寄せられた夢を、山手線の車内に掲出予定です（夢の募集は締め切りました）。



全国 47 都道府県で夢を発信する場を一緒につくる「Dream パートナー」

4月1日を日本中が夢であふれる1日にするために、日本中に Dream スポットをつくりまします。Dream スポットは、訪れた人が夢を発信したり、その誰かが発信した夢を見ることができるリアルな場です。夢を発信した人にとっては実現に向けた一歩になったり、訪れた人にとっては誰かの夢に出会うことで励まされたりします。そんな夢であふれ、夢に出会える Dream スポットを一緒につくっていただける Dream パートナーを全国で募集しています。

Dream パートナー申し込みはこちら：

<https://tayori.com/f/aprildream2026-partner>



April Dream 公式サイト：<https://aprildream.jp/>

April Dream 公式 SNS アカウント：

X (@AprilDream0401)、Instagram (@aprildream0401)、Facebook (@aprildream0401)

株式会社 PR TIMES について

PR TIMES (読み：ピーアールタイムズ) は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PR の民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業社数は 12 万 1000 社 を超え、国内上場企業の 64% 超 に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者 2 万 8000 人超、サイトアクセス数は月間約 9000 万 PV、プレスリリース件数は月間 4 万 6000 件超、累計で 200 万件 を超えています。全国紙 WEB サイト等含むパートナーメディア 260 媒体以上 にコンテンツを掲載しています (2025 年 11 月時点)。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR 活動の設計から実行まで伴走する PR パートナー事業、アート特化型の PR プラットフォーム「MARPH」、「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行えるカスタマーサポートツール「Tayori」など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社 グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES （東証プライム、名証プレミア 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
- 動画 PR サービス「PR TIMES TV」 (<https://prtimes.jp/tv>) の運営
- アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営
- カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
- 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
- プレスリリース専用エディター「PR Editor」 (<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
- Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>